

(様式1)

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取県立倉吉東高等学校

重点項目	探究学習	提出日	令和4年4月28日
------	------	-----	-----------

1 学校目標
世界市民として、豊かな文化の創造、民主的な社会及び平和的な国際社会の形成に進んで貢献することのできる、知・情・意を兼ね備えた、自主的・自律的で、生きる力に満ちた生徒を育成する。
2 重点項目に係る目標
<ul style="list-style-type: none">・アナログとデジタルをバランスよく活用して知識や技術を身につけ、それらを日常生活や他教科と横断的に結びつけながら探究的に学ぶことにより、グローバルリーダーとして活躍できる人材の育成を図る。・社会奉仕と環境問題に取り組み、地域に開かれた学校づくりを進めるとともに、生徒が主体的に地域貢献・国際貢献が行えるような指導を行う。 <p><数値目標></p> <ul style="list-style-type: none">・高校生国際シンポジウム出場 5グループ以上・REHSE 高校生環境教育発表会全国大会出場・鳥取県理数探究発表会入賞・1年次総合的な探究の時間（ミニ探究）とIB教育の手法との融合と試行授業の実施回数 5回以上
3 事業計画（事業名、事業概要）
<p>【高等学校課事業】</p> <p>■新しい学びの創造事業</p> <ul style="list-style-type: none">・「主体的・対話的で深い学び」教員スキルアップ事業 <p>1人1台端末が導入され、教員もICTに少しずつ慣れ、次の段階として、端末を活用した授業の「質的変容」を目指している。そうした中で、生徒に身につけさせる資質や能力、またそれらの評価について大学教員から指導を受ける。</p> <ul style="list-style-type: none">・生徒の思考力・判断力・表現力の強化のためのハイレベル講座 <p>学習を哲学的かつ探究的に学んでいくことで、協働性を基盤とした相互承認の場を形成し、生涯学習者としての資質や能力を養うことを目的とした講演会及び生徒と講師との意見交換会を実施する。</p> <p>【独自事業】</p> <p>■探究活動推進事業</p> <ul style="list-style-type: none">・探究活動の実施 <p>活動にともなうテキスト、実験器具、試薬、道具、書籍、文具等の消耗品を購入し、探究活</p>

(様式 1)

動を実現させる。

・探究活動の充実（1）（大学研究室訪問、地域における探究活動）

探究活動の動機付けや活動内容について質疑応答の時間を持ち、探究活動をより深化させることを目的に、各ゼミ単位での大学研究室訪問を行う。また、地域の特色や諸問題に関する探究を行うグループは、校外に出て実地でのリサーチを行う。その他のグループについても地元にある大学施設、研究施設、企業を訪問し、学びを得る。

・探究活動の充実（2）外部大会への応募、発表会参加）

生徒に県内外で行われる学会やコンテストでの成果発表への参加を促す。

・中間発表会

探究活動の中間発表会をポスターセッションの形式で行う。発表後の探究活動がより充実したものになるような助言や反駁を得るために、大学教授等の有識者を招聘する。今年度は9月28日（水）本校で実施予定。

・成果発表会

探究活動の成果発表会は、地域住民の方や保護者も対象にして開催する。ポスターセッションの形式で行うことで発表者と聴衆を近づけ、探究内容に関する活発な質疑応答を通して深い交流を行うとともに、本校生徒と海外高校生とが共同研究を行い、スライド発表形式で成果発表会参加者全員に対して成果発表を行う。今年度は1月25日（水）に本校で実施予定。

・論文作成指導に向けた教職員研修会

課題研究に先進的に取り組まれている講師を年2回にわたり招聘することで、探究活動の開始期や発表会や論文作成に向けた準備期など、時期や必要に応じた研修とする。

■社会につながる体験事業

・著名人講演会

各界で活躍している著名人の講話をとおして、鳥取県で活躍するリーダー育成はもとより、日本や世界でリーダーシップを発揮できる人材として成長できる契機とする。今年度は、講師に鳥取環境大学環境学部学部長の小林朋道教授を招き、11月9日（水）に本校で講演会を実施する。

■Chromebook と Google Workspace 活用教育実践事業

・先進校視察

関東地区の Google 認定校を訪問し、Google 認定教育者の取得推進、継続的な研修の実施方法や I C T を活用して実践する教育の教育論や手法について学び、校内に還元する。

※枚数任意